

事業支援・仕事・技術・資格の情報ページ

不払いや融資など仕事・経営の相談は遠慮なく東京土建の各支部事務所まで。

「危険さ伝えねば」10月着工から資格必要に

全建総連住宅対策部・労働対策部主催による「仲間の実践から学ぶアセスメント事前調査オンラインセミナー」が2月3日の昼・夜2回開催され、計259アカウントで視聴されました。セミナーは、講師として全建総連の田久 芳対部長、木賀聖司さん(東京都連・東建従委員長)、渡辺 義久さん(東京都連・東京土建副委員長)が報告しました。



259会場へオンラインで解説する渡辺さん

変わった。組合員が今まで以上に、危険さを伝えていかなければならない。仲間同士で学び合うことが大きなメリットだと感じる」と力強く話しました。

【本部・唐澤一喜記】田久部長は「法改正と課題、全建総連の方針について」と題し解説。石綿含有建材事前調査者(以下、調査者)について、調査の徹底と方法の具体化が今回の改正の趣旨と解説。2023年10月1日着工の工事から資格が必要となることを強調し、全建総連としても外部機関と連携して講習会の開催と有資格者を多く作り、調査者の仲間を組織化していくことが重要だと述べました。また、木賀さんと渡辺さんは、事前調査で、実際に自身が請負った工事例を挙げながら事前調査の方法、見積り計上について解説しました。木賀さんは、東建従で①調査者、②石綿作業主任者、③石綿取扱作業従事者特別教育に力を入れていることを説明。「石綿を取り巻く環境は

変わって、組合員が今まで以上に、危険さを伝えていかなければならない。仲間同士で学び合うことが大きなメリットだと感じる」と力強く話しました。渡辺さんは、事前調査を行なった施主宅の写真等も見せながら説明。調査費用を見積書に計上する際の考え方、元請と発注者と調査者の3者で書面の取り交わすことなどについて解説。「初めはやり方が分からず苦慮したが、件数をこなしながら自分のやり方を見つけていった。私にできるなら、皆さんも絶対にできる」と強調しました。質疑応答では、「実務的なことを聞けて参考になった」、「費用を発注者負担させるのは違う。国が面倒を見る義務があると思う」などの意見も出されました。東京土建は引き続きアセスメント関連の資格取得をすすめる、講習会やオンラインセミナーの開催、「調査者」資格取得者のスキルアップなどに取り組んでいきます。

世論喚起のため 大宣伝を提起

また、建設アセスメント訴訟では、国は最高裁判決を受けて、被害者に謝罪し、各裁判所に係属する1000人以上の原告と和解すること、未提訴の被害者には給付金制度による解決を図ることを決断し、給付金を成立させました。しかし、建材メーカーは今なお責任を争い、解決引き延ばしを図っています。直接の

加害者である建材メーカーがこの問題を早期解決しない姿勢は許されません。東京土建はアセスメントの被害者にも加害者にもならない取り組みとして、3つの主張を掲げて運動しています。①アセスメント粉塵を生じない工事の施工に全力を上げる。↓資格講習を広く取り組んでいきます。②アセスメント建材の改修解体工事に対する、助成制度の拡充を要求。↓調査・除去費用は施主負担です。しかし、アセスメント建材を使わざるを得ないようにしたのは、国と建材メーカーです。③アセスメント建材メーカーには被害にも除去にも真剣に対応することを要求。↓自ら製造販売した、発がん性のある有害な建材の除去に費用負担するのは当たり前です。以上の点を踏まえ、世論喚起の運動として「アセスメント問題周知チラシ全戸配布大宣伝」を提起しています。この行動を全組合員の仲間間で成功させていきます。

赤地龍馬さんを偲ぶ 組合の教育活動に貢献

【東京建築カレッジ・吉川新吾記】元東京建築カレッジ教務運営委員で、カレッジ開校以前から東京土建の組合員向け教育活動に貢献されてきた赤地龍馬(りゅうま)さんが昨年6月28日にお亡くなりになられました。享年90歳。東京土建のかかわりは、58年頃、東京土建東部職業訓練所(荒川支部などが母体)講師着任から。東京土建の二級建築士受験準備講座では74年開講以降、一貫して中心的役割を果たし、多くの組合員が熱のこもった受験指導を受けました。東京土建が92年に設置した建設労働技術研究委員会(藤澤好一委員長・芝浦工業大学教授、初代カレッジ学校長)にも参加し、カレッジ教育の発展に開校(96年)準備段階から尽力されました。

【前東京土建中央執行委員長・松丸一雄記】墨田工業高校建築科では製図の指導を受けました。時は過ぎ、東京土建本部役員としてお会いする機会がふえ、私が組合代表で挨拶すると、「ドキドキするよ」といつも心配してくれました。私はいつまでも先生の生徒です。ありがとうございました。

資格講習コーナー

申込み、問合せは各支部技術担当者へ

- 【作業主任者】木造建築物の組立て3月8〜9日(水木)池袋、1万1500円
- 【溶接】石綿(石綿使用の建築物等の解体・リフォーム作業)4月12〜13日(水木)けんせつプラザ東京、1万1500円
- 【建設機械】玉掛4月20〜22日(木金土)池袋(実技は足立)、2万2千円
- 【事業所向け】新入職者教育(法定の「雇入れ時教育」の一部と、足場特別教育・熱中症の2つの特別教育を実施)3月7〜8日(火水)池袋、1万円
- 【建築士講習】(東京土建A TEC)建築士定期講習①3月7日(火)建設プラザかながわ(東神奈川駅)、②3月28日(火)池袋、1万円

社労士ネットのコーナー 85

少子高齢化社会の急速な進行により労働力人口の減少が見込まれる中で、企業にとっていかに人材を確保するかが大きな課題となっています。対応策として①人員の新規採用、②既存社員の流失防止

が考えられます。新規採用、特に若年層は少子化の影響で対象者が減少しており採用の難易度は上がっています。セツカクに入社してもすぐに辞めてしまう悲劇もあ

ります。先を読めないこの時代は、既存社員の流失防止の方が優

先して取り組む必要があるように思います。退職には個別の事情があり一律の対応策は組織の中で上下の隔てなく

辞めていく人、他者から自分の存在を認められたい、評価されたなどの承認欲求が根底にあるとされています。辞めていく人すべての理由

を解消することではできません。また、互いを尊重し共通の目的のために助け合える信頼関係が構築されると生産性が高くな

ります。取りつらいこの考えもあり、す。しかし、いくら人材不足でも経営者や組織に同調でき

互いを尊重し共通の目的のために助け合える信頼関係が構築されると生産性が高くな

ります。取りつらいこの考えもあり、す。しかし、いくら人材不足でも経営者や組織に同調でき

互いを尊重し共通の目的のために助け合える信頼関係が構築されると生産性が高くな



境野さん

境野さん

境野さん

境野さん

境野さん

境野さん

境野さん

境野さん

境野さん

信頼関係構築に注力を 人材流出の防止が優先課題

境野 英雄

境野 英雄

境野 英雄

境野 英雄

境野 英雄